

来てくれ! 羽後町

羽後町農林課
矢野 和憲

にしもないぼんおどり 西馬音内盆踊り(毎年8月16日~18日)



西馬音内地区で古くから受け継がれてきた伝統行事であり、先祖の慰霊と豊穣祈願の意味を持つ、地域住民にとって大切な3日間です。賑やかに野性的なお囃子と、流麗な美しい踊りが特徴で、その幻想的な雰囲気を楽しむために全国から観光客が訪れています。

道の駅うご ^{はぬ}端縫いの里



2016年にオープンした道の駅では、地元の新鮮な農産物や加工品が並び直売所のほか、西馬音内そばを気軽に食べられるレストランやカフェ、秋田では珍しい本場のジェラートが味わえるお店もあり、町内随一の人気スポットとなっています。

飯沢地区の鈴木家住宅と染付蔵



秋田県内では最も古いといわれ、国の重要文化財にも指定されている、町を代表する茅葺き民家です。現在も当主家族が住んでいる珍しい文化財で、在宅時であれば見学も可能となっています。

西馬音内のそば



つなぎに布海苔が使われ、強めのコンシと甘口のだしつゆが特徴。冬でも冷たいつゆに浸して食べるのが常識で、町民からは「冷がけ」として古くから愛されてきました。町内には多くのそば店があり、味や食感などそれぞれに明確な個性が存在するため、食べ比べをするのも醍醐味のひとつ。

雪とぴあ七曲(毎年1月最終土曜日)



県内有数の積雪量を利用し、昭和61年から続けられているイベント。峠道を馬そりに揺られながら越えていく昔の花嫁道中を再現しており、たくさんのろうそくに照らされた峠の雪景色はとても魅力的。寒さの中、カメラ片手に観覧している方も多くいます。

園芸メガ団地



町では園芸品目の更なる生産拡大と生産額の飛躍的な向上を図るため、販売額1億円を目指す大規模な園芸団地の整備を進めてきました。その中で、新成地区に完成した園芸団地では、ストックやトルコギキョウ、ひばり野オクラなどが生産されており、当町の園芸振興をリードする経営体として活躍が期待されています。



潟上市天王土地改良区の概況について

潟上市天王土地改良区

鈴木 龍一



天王東排水機場



天王西排水機場



多面的組織活動風景

本土地改良区は、既耕地の区画整理を主事業として昭和29年に設立された旧南秋田郡天王町土地改良区と、国営八郎潟干拓事業の一環として造成された地先の増反配分に伴う、昭和36年設立の旧八郎潟南部干拓地区土地改良区、同じく昭和38年設立の旧八郎潟南部干拓地区第二土地改良区、同じく昭和42年設立の旧八郎潟南部干拓地区第三土地改良区が、水系・維持管理の方法等全く異なった条件のもとに昭和54年に新設合併を致した土地改良区であり、平成17年の市町村合併にならい名称を天王町土地改良区から潟上市天王土地改良区に変更しております。

受益地は元々から在る既耕地と干拓事業で造成された南部第1工区・南部第2工区・南部第3工区の4地区で構成されており、既耕地（受益面積842ha）の幹線用排水路は、ほとんどが新城川土地改良区の管理となっており、当土地改良区の管理は土地総事業で整備済みの小用排水路がメインとなっております。南部1（受益面積149ha）南部2（受益面積133ha）南部3（受益面積159ha）地区も土地総事業、農地集積加速化基盤整備事業で、整備済みであります。

管理施設は、天王西排水機場、天王東排水機場、大藤崎排水機場と、排水機場の管理がメインの土地改良区となっており、近年稀にみる自然災害、ゲリラ豪雨等への対応、施設の老朽化等が課題となっております。



事務所のたたずまい

「随想」

シリーズ④

稲川土地改良区

沼倉美知子



昨年から今年にかけて、枕詞のよ
うに「平成最後の〇〇」とイベント
や行事がある毎にこの言葉が付い
てきました。まさしく後一ヶ月余
りで「平成」が幕を下ろそうとして
います。

私にとっての平成は結婚・出産・
子育て：とあわただしく過ぎて
いったのですが、とても充実した三
十年でもありました。子供達が成人
した現在も、子供を通して得た親同
士のつながりは、かけがえのない貴
重な財産になっています。

高卒で稲川土地改良区にお世話
になったのは、昭和年代まだ平成に
なる十年程も前のことです。その当
時、定年に近づくことなど一ミリも
考えていなかった自分。振り返って
みるとあつという間だったように
も感じますし、思い返すと色んなこ
とがあつて長かったようにも感じ
ます。

その間の事務機器の発展はかな
り目まぐるしいものがありました。

私が土地改良区に入った当時、印刷
は**ガリ版**(若い世代は知らないか：
ググって下さい)が主流でした。そ
れから、**青焼きの印刷機**(アンモニ
アが臭かった)、**コピー機**(プリント
の綺麗さに感動)、**和文タイプライ
ター**(逆さ文字を探すのに手こずつ
た)、**ワープロ**(フロッピ保存できる
ことに感動)、そして**パソコン**とい
うように導入されていきました。パ
ソコンをはじめはマイツールとい
う表計算やデータ処理に特化した
ものでした。その後、Windowsが導
入されると一台のディスプレイで
同時にいくつもの画面を開くこと
ができることに、かなり衝撃を受け
た記憶があります。Windowsも
バージョンアップが何度かありま
した。新しいものが導入されるた
びに、その事務機器と戦っていた自分
を思い返します。

これまでの間、周りの方々に恵ま
れて仕事が出来てきたことは、本当
にありがたく感謝の気持ちでいっ
ぱいです。新元号を迎える今、これ
からも皆さんの協力をいただきな
がら、目指すゴールに向かって努力
していきたいと思えます。

第19回 美しく豊かな農村づくり写真コンクール

2月8日(金)写真コンクール審査会が行われ、
入賞作品24点が決定しました。入賞作品につい
ては本会HP「写真コンクール」のサイトにてご紹
介しておりますので是非ご覧ください。

総評

高貝審査委員長「**全国から集まる日本部門**の写
真を見ると写真の構成が非常に高くプロに近い
ような写真ばかりであった。また、**秋田部門**の写
真を見ると地域密着型の写真が多く、高齢化社
会・人口減少といった中でも頑張っているとい
う社会背景をうまく映し出していると思う。今年
は全体的に中身の濃い写真が多い印象であった」

< 審査会の様 >



ベストあきた賞

「素晴らしき山麓」

佐藤 成公
(撮影場所：由利本荘市矢島)



日本NN賞

「田植え」

田中 容子
(撮影場所：徳島県佐那河内山の上)



秋田県農林水産部長賞

「新緑の山里」

九嶋 操
(撮影場所：鹿角市八幡平小割沢)



三種町のじゅんさい

水土里レポーター：秋田県能代地区土地改良区
総務課長 三浦 誠樹



秋田県三種町は「じゅんさい」の生産量が日本一です。じゅんさいは水面に葉を浮かべる水草の一種で、その茎から出てくる新芽を食用として摘み取りします。収穫時期は毎年4月下旬から8月下旬までとなっており、最盛期は6月頃です。町内のじゅんさい沼で摘み取り体験も行われておりますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。

連 合 会 日 誌

2月26日	都道府県水土里ネット事務責任者会議	東京都
2月28日	栄南部地区竣工式並びに竣工祝賀会	横手市
3月5日	秋田県農業集落排水連絡協議会研修会	秋田市
3月5日	全国水土里ネット理事会	東京都
3月6日	平成30年度基金管理委員会	本会第1会議室
3月7日	平成30年度平鹿支部役職員研修会	横手市
3月12日	平成30年度秋田県土地改良区統合整備推進協議会	本会第1会議室
..... 今後の行事予定		
3月26日	第48回秋田支部通常総会	秋田市
3月26日	全国水土里ネット平成31年度通常総会	東京都
3月26日	第60回全国土地改良功労者等表彰式	東京都
4月22日	第1回監事会	本会第3会議室
4月22日	第1回理事会・第1回役員会	本会第1会議室
4月26日	全国水土里ネット会長・事務責任者会議	東京都

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。
○由利本荘市土地改良区(H31.2.5)
理事長 三浦 昭夫

リレー vol.16 感想文



毎号たくさんの情報が掲載されており、読み応えがあります。編集ご苦労様です。

北秋田市土地改良区

工事係：三沢諭司

編集後記

寒かった冬も明け、段々と暖かくなり春に近づいてきましたが、それと同時に長いようで短かった今年度が終わろうとしています。

私は、春といえばやはり「桜」を思い浮かべてしまいます。日本の代表的な花である桜ですが、今や日本のみならず世界中の方から愛されるようになりました。冬の間待ち焦がれていた桜を見ると色々な感情がリセットされ新鮮な気持ちにさせてくれます。

来年度からはいよいよ新しい元号となり、新しい時代が始まります。水土里ネット秋田でも電話の保留音が新しく水土里ネット秋田のテーマソングとなりました。新しいことづくめの来年度ではありますが、変わらず精進して参ります。
(事業調整センター◆寺澤)

